

県本部通信

5

2019 May
No.205

Monthly Zen-noh Gunma



Contents

事業のうごき	2
インフォメーション	3～5
農業チャレンジャー	6
JAピックアップ!	7
アートクッキング	裏表紙
花木流通センター便り	裏表紙

粕川の鯉のぼり 伊勢崎市堀下町

4月になると伊勢崎市立赤堀南小学校の横を流れる粕川沿いにおよそ500匹の鯉のぼりが大空を泳ぎ、春の風物詩となっています。「堀下鯉のぼりを揚げる会」の会長さんが赤堀南小学校の新入生たちを鯉のぼりで迎えたいという思いからスタートし、今年で29回目を迎えます。新入生が楽しみながら学校に通えるようにという温かい気持ちが伝わります。



私たち全農グループは、**生産者と消費者を**
安心で結ぶ懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

事業のうごき

JA群馬担い手サポートセンター

- JA生産販売計画の実践と
目標達成に向けた取組支援
- 担い手の経営強化のための経営管理支援
- JA営農経済部門の人材育成支援
- TAC活動等JAの出向く体制強化支援
- 大規模経営農家・法人等の経営安定化支援
- JA野菜振興計画の目標達成に向けた取組支援
- 農産物の安全・安心確保対策
- 園芸作物生産実証農場の運営

畜産農産部

◇酪農畜産課

- 生乳計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進
- 渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進
(優良ET卵産子の活用促進)

◇米麦特産課

- 米穀出荷契約推進
- 平成30年産民間流通麦引取推進
- 令和2年産民間流通麦生産計画推進
- こんにゃく荒粉・精粉出荷販売推進
(入札の実施)

園芸部

◇園芸販売課

- 共計ほうれん草販売 (周年)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味にら販売 (周年)
- 共計ブリックスナイン販売 (6月末日迄)
- 共計県統一規格きゅうり販売 (7月末日迄)

◇販売促進課

- 春野菜販売促進
- もやし類・加工野菜販売促進
- 花き類販売促進

◇園芸資材課

- 夏用出荷資材予約・当用推進
(枝豆・みょうが・おくら・なす・ほうれん草等)
- 春夏用青果物段ボール予約・当用推進
- 果樹袋当用推進(りんご・ぶどう・なし・もも等)
- 農ビ・農ポリマルチ予約・当用推進
- 夏用野菜種子推進
(ほうれん草・枝豆・とうもろこし等)
- セル苗の予約推進(トマト・ナス等)

生産資材部

◇花木流通センター

- 4月27日(土)～5月6日(月・祝)
GW菜園フェア
- 5月10日(金)～12日(日) 母の日・菜園フェア

◇肥料農薬課

- セルフブレンド推進
- 水稻肥料農薬推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進
- バンカーシート推進

◇施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産(株)「新築そっくりさん」推進 (周年)

生活部

◇生活課

- 太陽光発電推進 (周年)
- シロアリ防除事業推進 (周年)
- 令和元年度(平成31年度)新茶推進
(4月～6月)

◇葬祭総合課

- 会員獲得推進の実施

◇石油課

- 春期オイルキャンペーン (2月～5月)
- 春期タイヤキャンペーン (3月～5月)

◇ガス課

- 春の厨房機器推進 (4月～6月)
- ガス器具推進 (4月～12月)

花木流通センター 44周年大創業祭



3月16日(土)から3月21日(木)の6日間、花木流通センターで44周年大創業祭が開催されました。期間中は、JAたかさきの生パスタやJA佐波伊勢崎のやよいひめを使ったいちごジャムの試食販売、牛乳やきのこ汁の無料配布、ポチッとくん体操などの各種イベントが行われました。きのこ汁を食べたお客様は、「きのこの出汁が出ていておいしい」と好評で、連日のイベントとお買い得商品を買求める多くのお客様で賑わいました。

トレサビシステム基本操作研修会



JA群馬担い手サポートセンターは、平成31年4月から生産履歴記帳支援システム「農業ナビゲーションシステム」への移行に伴い、新システムの操作研修会を開催しました。3月18日(月)から20日(水)の3日間で、13JAの担当者67人が参加しました。

新システムは、最新かつ信頼性の高い農業登録情報を用いて生産履歴の確認ができ、操作がより簡易的で、履歴の確認がしやすくなりました。それにより、直売所へのシステム導入も期待でき、農産物の安全確保に役立てていくことができます。

野菜生産拡大研修会



JA群馬担い手サポートセンターは、3月25日(月)、JA群馬研修センターにおいて「野菜生産拡大研修会」を開催し、県内各JA担当者、県農業事務所等約60人が参加しました。

研修会では、(株)デルフィー日本の齊藤章氏による「施設園芸における環境制御技術」、県農業技術センター独立研究員の鶴生川雅己氏による「きゅうりの生育『見える化』」と題して優れた技術が紹介されました。続いて、各JAの野菜振興計画取組実績の報告と、新年度に向けて群馬県の「野菜王国・ぐんま」や同センターが実施する取り組みについての説明が行われました。

平成31年産米の生産・集荷・販売方針並びに出荷契約及び大豆出荷契約、平成32年産麦の出荷契約推進会議



3月26日(火)、米麦特産課は「平成31年産米の生産・集荷・販売方針並びに出荷契約及び大豆出荷契約、平成32年産麦の出荷契約推進会議」を開催し、各JA担当者をはじめ、県、米麦大豆振興協議会他関係者約60人が出席しました。会議では、新年度の米麦、大豆の生産に関する事務的な流れを中心に、米の集荷・

販売方針やそれぞれの出荷契約書等に係るスケジュールや提出書類の具体的な事務手続きについての説明が行われました。

作物栽培総合技術研修



3月25日(月)から27日(水)までの3日間、TACを対象に営農技術の強化を目指した作物栽培総合技術研修が開催され、JAはぐくみのTAC佐藤匠さんが受講しました。この研修会は本所耕種総合対策部の主催で、今回は、園芸作物生産実証農場でキュウリとナスをテーマに行われました。施設栽培技術に関する座学研修、農場での誘引、摘芯、収穫などの栽培管理を学びました。佐藤さんは「習得した技術や知識を今後の業務に役立てたい」と話しました。

退職者を送る集い



3月29日(金)、3月31日付で当県本部を退職される9人の「送る集い」が開催されました。県本部を代表して須藤本部長から長年に亘り系統経済事業発展のために尽力されたことへの感謝の言葉が述べられました。退職者に花束が贈られ、ひとりひとりから勤続

30有余年の思い出や後輩への激励の言葉をいただき、参列者から盛大な拍手で見送られました。

また同日、県本部長の要職にあった須藤邦彦氏に、畜産生産基盤の維持拡大に努めるとともに事業競争力の強化やシェア拡大、全農自己改革の実践に全力を傾注され系統経済事業の発展に貢献したことを讃え、大澤会長から感謝状が手渡されました。



全体管理職会議



4月1日(月)、平成31年度のキックオフ大会にあたる「全体管理職会議」が開催されました。冒頭、伊藤本部長から3か年計画の初年度に臨む管理職としての心構えについて訓示したあと、31年度事業計画の必達と3か年計画達成に向けた取り組みと、改めて「全農グループ役職員行動規範」を確認するとともにすべての従業員が全農グループの一員であることを自覚し、法令順守と働きがいのある職場づくりの実践に向けて意思統一をはかりました。

第9回 「きゅうり・いちご」収穫体験ツアー



4月6日(土)、JA邑楽館林・JA全農青果センター(株)東京センター・コープぐんまと当県本部の共催で、組合員を対象とした「コープぐんま収穫体験ツアー」を開催しました。農産物への理解を深めるとともに、消費拡大と有利販売につなげるため、邑楽館林産農産物の生産現場の見学と収穫体験が実施されました。当日は、17組45名の親子が参加し、食と農とのふれあいを楽しみました。

葬祭新任スタッフ基礎研修会



4月16日(火)、葬祭総合課はアシストホールたかさきで「2019年度葬祭新任スタッフ基礎研修会」を開催し、8名の葬祭担当者が参加しました。研修会では、(株)マーケティングオフィス代表取締役の小野田氏を講師に招き、葬祭のプロとしての心構えや基礎知識、接客での言葉遣いの講習に続き、葬儀場面を想定した、

実践演習が行われました。今後の業務に活かすことができる有意義な研修会となりました。

JAアシストホールたかさき

第14回 人形・ぬいぐるみ

供養祭

2019/6/2 [日曜日]

ご来場の方に来場記念品プレゼント!

受付

午前9:00~午前11:00

雨天決行

午前11時より肅主による供養

ご注意

不燃物・ガラスケース等は、
はずしてお持ちください。

会場

JAアシストホールたかさき

供養料 **500円** (税込) ねんりん
倶楽部
会員無料

大切にしていた心をいつまでも...

沢山の思い出と愛情のこもった大切なお人形や
ぬいぐるみに感謝を込めて、肅主によるご供養をいたします。
可愛がっていたお人形やぬいぐるみをお持ちください。

シニア体操教室 演劇呼吸法 9:45~10:45 | 「新茶」試飲会

野菜直売 | 新盆用品&ギフト展示予約会

「高崎素麺」試食会 | ソウルジュエリーの展示

棺の展示及び入棺体験 | 仏衣・高級仏衣の展示

2019年6月家族葬専用式場
リニューアルオープン

JAたかさき

JAアシストホールたかさき

☎0120-62-5940

〒370-0036 群馬県高崎市南大塚町710-2

組合員のみさまへ

エミコトブ新茶は、
まろやかな旨味を引き出す
深蒸製法のお茶と
さわやかな香りを生かす
伝統製法のお茶を、
熟練した技術でブレンドしています。
新茶はすこし細くなりますが、
この細かな新茶こそ旨味の素です。

この包装は、光・水・空気を通しません。しかも真空後、窒素ガスを充填していますので、開封されるまでお茶の風味を保てます。

開封後は、茶葉にとって大敵の高温多湿を避けるため、冷蔵庫に保存の上、早めにお召し上がり下さい。また、夏場に1ヶ月以上保管する場合は、茶筒や茶袋をビニール袋に入れ冷蔵庫に保管することをおすすめします。

玉翠 1kg(167g×6本)

白楽 1kg(167g×6本)

紫鳳 1kg(167g×6本)

新茶 Green tea

一口メモ
開封後の
保管

【お問い合わせ先】 JA全農ぐんま 生活課 TEL027-220-2351 FAX027-220-2324

農業チャレンジャー

農 チャレ

こだわらず、何でも試して、
健康な「あがつま麦豚」を育てます

JAあがつま管内 富澤一也さん

JAあがつま



／ Profile ／

富澤 一也 (とみざわ・かずや)さん

1986年生まれ 33歳

JAあがつま青年部・養豚青年部・

養豚協会青年部 所属

母豚頭数：約110頭

趣味：写真・キャンプ・子供と遊ぶ

好きな食べ物：豚バラが一番好きです。

野菜を巻いて食べるとおいしいです！

—今回の農業チャレンジャーは、JAあがつま管内の吾妻郡東吾妻町で「あがつま麦豚」を生産する富澤さんです。

—就農のきっかけは？

父が病気で体調を崩していたときに、勤めていた会社を辞めて、養豚業を手伝うようになりました。26歳で就農して7年目になります。

—養豚業を創められたのは？

祖父です。こんにやくの生産をしながら、養豚業を創めました。父が専業で養豚業を継いだ時に現在の規模になりました。

—「あがつま麦豚」は何軒で？

この地域の3軒の農家で生産しています。

—どのような管理方法ですか？

ウィークリーで曜日ごとの管理をしています。月曜日は出荷と掃除と石灰塗布、火曜日は去勢ワクチンと子豚の移動、水曜日は1日中洗浄、木曜日は離乳と洗浄、金曜日は出荷準備の体重測定で、作業はなるべく金曜日までに終わらせるようにしています。

—やはり掃除や洗浄など衛生面に注意していますね。

そうですね、病気の感染には気を付けてい



1 3日前に産まれた子豚の世話をする富澤さん。

2 元気いっぱいの子豚たち。母豚の乳房の数(14)以上の子豚を出産した場合、里親に出すこともあるそうです。

ます。おが粉豚舎には、4年くらい前から消毒後に壁にも石灰を塗るようになりました。おが粉の下に敷く床材の堆肥は、70℃以上にキープして殺菌するようになって、寄生虫が殆どいなくなりました。

—心掛けていることは？

考え方が偏ってしまわないように、こだわらないようにしています。良いものがあればなんでも試してみます。

—これまでどんなことを試してみましたか？

離乳後の子豚の事故が多い時期があり、離乳時期を4・5日延ばして、母豚を移動した後も母豚がいない環境に慣れさせてから、離乳舎へ移動するようにしました。ある程度大きくなってから徐々に環境を変えることで病気に強くなり、良く育つようになりました。

—今後の展望をお聞かせください。

500頭程度入る肥育舎をもう1棟建てて、現在の倍くらいの規模にはしていきたいです。小売りや販売に興味がないこともないけれど、人がやっていないようなおもしろいやり方ができればと考えているところです。

—試行錯誤しながら独自のやり方を切り開いていく富澤さんに、今後さらなる活躍が期待されます。

JA赤城たちばな



▲ 最高賞の県知事賞に輝いた森田さんと生シイタケ

群馬県産キノコが集結 最高賞に森田富雄さん

第22回群馬県きのこ品評会及び表彰式(県・JA全農ぐんま・県きのこ振興協議会主催)が1月22～23日、県庁で開かれました。最高賞の県知事賞(特別賞・農林水産大臣賞)に、森田富雄さんの原木栽培の生シイタケが見事選ばれました。

22日に行われた品評会では、形質や色つや、品揃いなどが厳正に審査されました。県内から、生シイタケ137点、マイタケ44点、ナメコ17点など計219点の出品がありました。管内からは、生しいたけ部門に13点出品。うち金賞は6点、銅賞4点と上位を占め、素晴らしい成績を収めました。

23日の表彰式で、県林業振興課の桑原雅美課長は「何点か水分量のばらつきが見受けられたが、全体的に鮮度などが良好で、生産者の技術力の高さが表れている」と審査講評を報告しました。表彰式のほか、出品物の展示・即売、きのこ汁の無料配布などが行われ、大勢の来場者が列を作りました。試食した人はふるさとの味を懐かしみ、心も体も温まりました。

マレーシアで販促 組合長トップセールス

JAにったみどりは、3月7日から11日まで、マレーシアのクアラルンプールで青果物のPR販売を行いました。

渡航したのは、JA大澤孝志組合長ほか役職員、県ぐんまブランド推進課、JA全農ぐんま、長野連合青果ら7人。

経済発展の著しいマレーシアに青果物を売り込むことで、現地での取り扱いを定着させ、販売量を増やすことが目的。2016年、2017年にシンガポール、2018年にマレーシアで開き、今回が4回目。

試食販売はヤマトイモ、高糖度トマトのブリックスナイン、県産イチゴのやよいひめの3品目。店頭では、大澤組合長らがハッピーを着て試食を勧め、青果のおいしさを紹介しました。

現地ではキャンペーン期間中、富裕層向けの店舗で、差別化商品としてアピールし、好評を得ました。

JAにったみどり



▲ 店頭でお客様に試食をすすめる大澤組合長

みどりの風 放映予定

※タイトル・放送内容等は
変更となることがあります。

GTV 48ch 放映のお知らせ

番組名／提供	放送日 ※再放送日	時間
学びたいが、ここにある。農林大学校／JA群馬中央会	5月13日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※5月19日(日)	AM 8:00～ 8:30
まごころと美味しさを食卓へ!／JA高崎ハム(株)	5月20日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※5月26日(日)	AM 8:00～ 8:30
自然の風味をそのままに! 沢田の味／JAあがつま	5月27日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※6月2日(日)	AM 8:00～ 8:30



能登 瑤子アナ

アスパラ炒めご飯のアボカドクリームソースかけ



Food adviser 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。

材 料

2人分

(1人分932kcal)

アスパラ……………1束	オリーブオイル……………大さじ1
玉ねぎ……………1/4個	小麦粉……………大さじ3
ベーコン……………2枚	牛乳……………1カップ
オリーブオイル……………大さじ1弱	生クリーム……………1/2カップ
ご飯……………400g	塩……………小さじ1/2弱
塩・コショウ……………各少量	コショウ……………少量
アボカド……………1/2個	トマト・レタス……………適量

作り方

- 1 アスパラは、はかまをとり塩を加えたお湯でサツと茹で5mm幅に切る。
- 2 玉ねぎは、みじん切りする。ベーコンは、5mm角に切る。
- 3 フライパンにオリーブオイルを熱し、玉ねぎとベーコンを炒めご飯を加えて炒め、塩・コショウして1のアスパラを入れ更に炒める。
- 4 アボカドは、皮をとり5mm角に切る。
- 5 鍋にオリーブオイルを熱して小麦粉を炒め(焦がさない)、牛乳を少しずつ加え生クリームを入れ、鍋底をかき混ぜながらとろみがついたら、4のアボカドを加え、塩・コショウし味を調える。
- 6 お皿にアスパラご飯を盛り、5のアボカドクリームソースをかけてトマトとレタスを添える。

花木流通センター イベント情報

開催日

フェア etc

5月10日(金)～12日(日)

母の日・菜園フェア

開催日

講習会 etc

5月12日(日)

栽培講習会～さつまいも・ねぎ～

5月15日(水)

栽培講習会～さつまいも・ねぎ～

5月19日(日)

栽培管理講習会～なす・きゅうり・トマトの仕立て方～

5月22日(水)

栽培管理講習会～なす・きゅうり・トマトの仕立て方～

5月上旬～中旬

<食育教室> ・コンテナで野菜苗を育てよう！
・里芋を植えよう！

5月下旬

<食育教室> ・さつまいも苗を植えよう！
<ベーカーリー> ・大人のサンドウィッチ講習会



花木流通センターでは、母の日に最適なフラワーギフトを数多く取り扱っております。

定番のカーネーションはもちろんのこと、マーガレット、あじさいなど贈り物にピッタリなお花がたくさんあります。ひとつのお花を贈るもよし、寄せ植えなどでたくさんのお花を贈るもよし、送る人のことを想いお花を選んでみてはいかがでしょうか。

皆様のご来店を心よりお待ちしております。

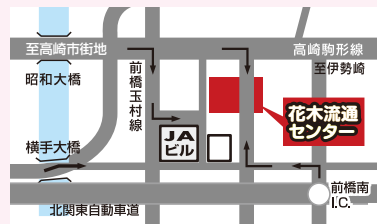


KABOKU
花 木 流 通 セ ン タ ー

みどり館
新鮮ぐんま

営業時間 9:00～18:00 6月～2月 毎週火曜日定休

一取扱品目一
□園芸資材館/営農・園芸資材等□ふらわーらんど/鉢花、花苗等□JA植木コーナー/緑花木、盆栽等□エクステージ/外構・造園工事等□新鮮ぐんまのり館/産直野菜、農畜産加工品、手作りパン・ハム・食堂等□外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



前橋市亀里町1307-1
TEL027-220-2427 FAX027-220-2424

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて

『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

〈あて先〉〒379-2147 群馬県前橋市亀里町 1310 番 JA 全農ぐんま「県本部通信」係まで
E-mail : info-gunma@gm.zennoh.or.jp ※JA メール等でも結構です。